

民主島根

2019年
1.20
第1328号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

松江で街頭演説、出雲で新春の集い 安倍政治サヨナラの年に

小池書記局長、中林参院選挙区予定候補、尾村・大国県議訴え

日本共産党の小池晃書記局長・参院議員が13日、松江、出雲の両市を駆けめぐり訴えました。中林よし子参院鳥取・島根選挙区予定候補も両市で決意表明。松江市では尾村としなり県議が、出雲市では大国陽介県議がそれぞれ訴えました。

共闘勝利と共産党躍進を

松江

イオン松江店前での街頭演説で、小池氏は参院鳥取・島根選挙区で9日に立候補表明した中林よし子参院議員を「野党統一候補」に押し上げようと訴えました。市民と野党の共闘の勝利と日本共産党の躍進で、統一地方選と参院選は「安倍政権にサヨナラをする絶好のチャンスだ」と熱く呼びかけました。

出雲

小池氏は、昨年、沖縄知事選と改憲策動で安倍首相の思い通りにさせない超満員となった党と後援会の「新春の集い」で中林氏は出馬を取りやめた福住ひでゆき氏に感謝を述べ、「彼の安倍政権打

倒の決意を心に刻んだ」と表明。「自公を少数に追い込むには、野党統一候補で1人区を勝ち抜くしかない」と語り、「1945年生まれの私には、二度と戦争をしないと誓った戦後の日本は人生そのもの。安倍首相による9条改憲を許さず、日本の農業を再生させる。全生命をかけてやり遂げる」と訴えました。小池氏は、中林氏が「島根の太陽」と呼ばれ、1979年の初当選以来、4期9年衆院議員を務めたことを紹介。BSE問題で2002年には小泉純一郎首相(当時)に政府の対応責任を認めさせるなど「日本の食と安全を守る国会論戦は抜群だ」と強調し、「島根の太陽」から「鳥取・島根の太陽」に押し上げようと力を込めました。

参院鳥取・島根選挙区予定候補 中林よし子 元衆院議員を発売

福住氏取り下げ

日本共産党の島根、鳥取の両県委員会は9日、今夏の参院選鳥取・島根選挙区で市民と野党の本気の共闘を成功させるため、元衆院議員の中林よし子氏(73)を擁立すると発表しました。昨年8月から予定候補として活動してきた福住ひでゆき氏(43)の擁立は取り下げました。

島根の後藤勝彦、鳥取の小村勝洋両県委員長が島根県庁で記者会見し、後藤氏は参院選1人区での野党共闘の必勝に向け「安倍政治を変えてほ



しい」と願う国民の期待に応える野党の本気度が問われるたかいた」と述べ、総合的に判断して中林氏を擁立したと説明。その上で、両県の野党各党に野党統一候補の実現に向けた真剣な協議を行うよう呼びかけ、「鳥取・島根では中林さんを野党統一候補とすることを共産党として提案したい」と訴えました。



日本共産党演説会

3月3日(日)

弁士 党副委員長(参院議員)

市田 忠義

■午前10時30分～ 出雲市

会場：朱鷺(とき)会館

■午後2時～ 松江市

会場：県民会館・中ホール

鼓動

イノシシ年がスタートした。島根はイノシシと縁が深い。出雲国風土記にも「意宇郡安道(ししち)郷」の地名由来として、オオクニヌシが狩りをして追いかけた猪が石になって存在しているからだと言く。さらに「秋鹿郡大野郷」条にも猪猟が出てくる▼夕日の情景で有名な宍道湖は、この「宍道郷」から近世になって付けられた名称で、風土記時代には「入海」とか「野代海」と呼ばれていたとある。いずれにしても大昔には、宍道湖周辺の低湿地には多くの猪が走りまわり、ここかしこに「猪の道」宍道」があったのだろう▼イノシシの先祖は、日本人のルーツが列島に渡ってくるより悠か大昔に、大陸と地続きの時代に進入し、石器、縄文時代には人々の大切な食料源となっていた。縄文人にとつて、イノシシは単に食料の狩猟対象であるだけでなく、神として崇め祀っていたという▼しかし、弥生時代になると稲作が伝来し、狩猟から農耕へと生活スタイルが変化したことによって、農耕地を荒らすイノシシは神の座から引き降り降ろされ駆逐の対象となり、今日では有害鳥獣扱いとなっている。人間の都合で神から悪者へと「転落」させられた▼ところでイノシシといえはすぐに思い浮かぶのは「猪突猛進」という言葉だ。同時に、安倍内閣の暴走政治を連想する。生物学者の小寺祐二氏は「猪はとも臆病で興奮すると突っ走る」という。政権運営の不安と政策の行き詰りを強権政治で突破する安倍政治と似ている。今年こそ、日本共産党の躍進で安倍暴走内閣終焉の年としたい。(吉)



声援に応える(左から)小池、中林、尾村の各氏(イオン松江店前)



激励に応える(左から)大国、中林、小池の各氏ら(出雲市民会館)